

かめおかプラスチックごみゼロ宣言

～世界最先端の『環境先進都市・亀岡』を目指して～





Photo: Andrew Rick / https://flic.kr/p/2vWVW (CC BY 2.0)





Photo: NOAA PH



Photo: Wolfram Burner/<https://lic.kr/p/ruQu37> (CC BY-NC 2.0)

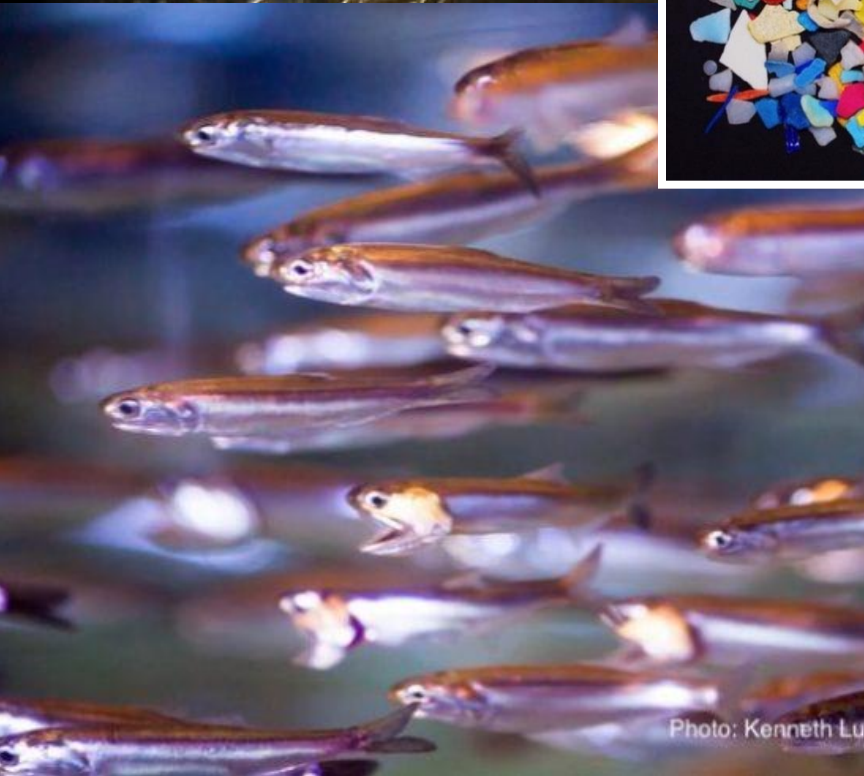


Photo: Kenneth Lu

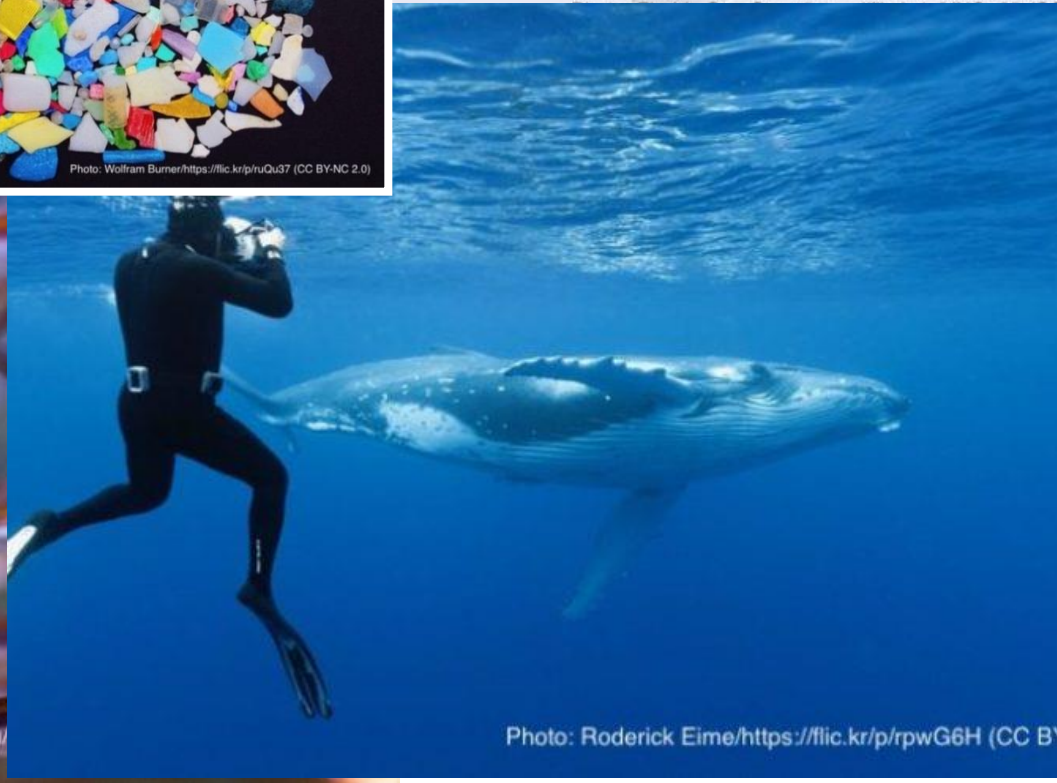
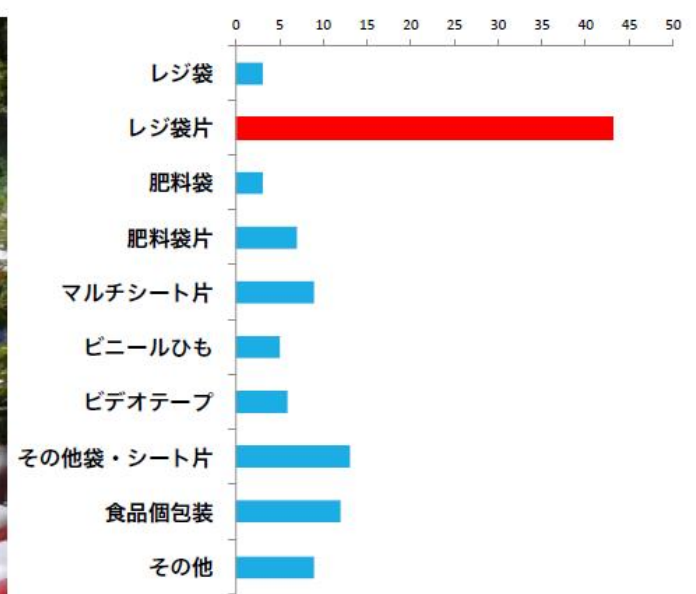


Photo: Roderick Eime/<https://lic.kr/p/rpwG6H> (CC BY)



保津峽に漂着したごみ



2010.10.06 保津峡・清水



宣言に至る経過

- 2005年から保津川下りの船頭さんによる清掃活動がスタートする。
- 同じ頃、保津川流域の環境保全に取り組む、特定非営利活動法人プロジェクト保津川が2007年7月(法人設立は2008年3月)に誕生、これまでに積み重ねた月1回の保津川クリーン作戦は、平成30年12月で117回を数える。
- 内陸部の自治体で初開催となる海ごみサミット2012亀岡保津川会議が国・府・NPO・NGOなど国内外の関係者700名以上を一堂に会して開催
- 2013年には、サミットの両宣言に賛同し、宣言の内容の具現化を目指し、保津川で繋がる市民、企業、団体、大学、NPO、行政15団体が参画する「川と海つながり共創(みんなでつくろう)プロジェクト」を設立、『保津川の日』『こども海ごみ探偵団(環境学習)』などの発生抑制対策に取り組んでいる。
- 2015年桂川市長が環境先進都市と目指す考え方を示される。
- 2018年3月亀岡市ゼロエミッション計画を策定
- 2018年10月11日、環境省が示したプラスチック資源循環戦略で、レジ袋有料化を義務化する方針が示され、2025年までに使い捨てプラスチックごみ25%削減を目標とすることが分かる。(10月11日)

12月13日 かめおか プラスチックごみゼロ宣言

かめおか プラスチックごみゼロ宣言

深刻化する海洋プラスチック汚染は、魚や海鳥などの海の生態系にまで大きな影響を与え、地球規模の問題となっています。ここ亀岡でも、大量のペットボトルやレジ袋などのプラスチックごみ問題が、保津川をはじめとする自然景観や市民の生活環境、そして観光にも大きな影響を与えているだけでなく、「市の魚 アユモドキ」に代表される多様な川の生態系にも影響を及ぼすことが危惧されています。

この問題は、私たち一人ひとりの身近な問題として捉えていく必要があります。そして、私たちにできる身近な取組みを国内外の他都市とも連携し、湧き上がるような大きな流れを巻き起こしていかなければ解決できるものではありません。

今、世界では、使い捨てプラスチックごみの削減に向けた動きが加速しています。亀岡市は、平成24年に内陸部の自治体で初めてとなる海ごみサミットを開催し「母なる川保津川」から海ごみをなくす取組みを発信してきました。こうした取組みをさらに深化させ、みなさんとともに2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロのまちを目指します。そして、自然環境の保全と地域経済の活性化に一体的に取り組む『世界に誇れる環境先進都市』を実現します。

2018年12月13日

亀岡市長 桂 川 孝 裕 亀岡市議会議長 湊 泰 孝

【目指す目標】

- 1 市内の店舗でのプラスチック製レジ袋有料化を皮切りにプラスチック製レジ袋禁止に踏み切り、エコバック持参率100%を目指す取組みを進めます。
- 2 「保津川から下流へ、そして海にプラスチックごみを流さない。」世界規模の海洋汚染(マイクロプラスチック)問題に立ち上がる意識のつながりを呼び掛けます。
- 3 当面発生するプラスチックごみについては100%回収し、持続可能な地域内資源循環を目指します。
- 4 使い捨てプラスチックの使用削減を広く呼びかけ、市内のイベントにおいてもリユース食器や再生可能な素材の食器を使用します。
- 5 市民や事業者の環境に配慮した取組みを積極的に支援し、世界最先端の『環境先進都市・亀岡』のブランド力向上を目指します。

【市の取組み・キックオフ】

- 1 市の主催する会議では、リユースカップを配備し、ペットボトル飲料の配布やプラスチック製ストローなどを使用しない取組みを進めます！
- 2 市の公共施設や市庁舎内のレストラン・売店でも、使い捨てプラスチック製品を使用しない取組みを進めます！
- 3 公共施設にウォーターサーバー(冷水/温水)を設置し、亀岡のおいしい水の提供とペットボトルの削減を同時に取組むとともに、市内の公共施設でミルクが作れる子育て支援環境を整備します！



国際的なプラスチックごみ削減の動き

- 12月15日、**国連**では、**2025年までに**プラスチック製のレジ袋やストロー、食器の使用をやめた上、**最終的には使い捨てプラスチックの全廃を目指す**戦略を各国がつくるなどとする国連環境計画(UNEP)の閣僚宣言案が明らかとなる。
- 12月21日、**EU**でも28か国全てがストローや食器など**10種類の使い捨てプラスチック製品を2021年までに廃止することに合意**

かめおかプラスチックごみゼロ宣言

●先導的プロジェクト



- ①マイバック100%めざそうプロジェクト
- ②リバーフレンドリーレストランプロジェクト
～「プラごみゼロ」をお店と市民が美味しく実践するプロジェクト～
- ③いつでも、どこでも「亀岡のおいしい水」プロジェクト
- ④プラごみゼロでまちのしごと応援プロジェクト



①マイバック100%めざそう プロジェクト



レジ(プラスチック)袋有料化→使用禁止

マイバック持参 / (紙・生分解性バックへの転換) → 100%

実施目標:2020年度 条例制定

- 2018年度 市内店舗、商店街との協議
使い捨てプラスチック袋使用禁止条例検討
- 2019年度 使い捨てレジ袋有料化スタート
- 2020年度 使い捨てプラスチック製レジ袋禁止条例制定
(周知期間設定)
使い捨てプラスチック製レジ袋禁止条例施行